

秩父川端温泉 梵の湯

Chichibu Kawabata Onsen Bonnoyu
(埼玉県秩父市)



外観

今回紹介するのは、秩父にある梵の湯である。梵の湯には別館と新館があり、ここでは新館を紹介する。

梵の湯は、キャンプ場とドッグランが併設された日帰り温泉施設だ。キャンプ場利用者、ドッグラン利用者にとってはこの上なく便利な存在である。加えて、犬専用の温泉まであるというから驚きだ。人間だけでなく、犬まで快適になれる施設である。もっとも、犬が風呂好きの生き物かどうかは知らないが。もちろん、キャンプ場は犬同伴OKである。

梵の湯には、岩盤浴、マッサージ、軽食などの機能も備わる。受付前にはすいか、なすび、きゅうり、かぼちゃなどの郷土の野菜や土産物売り場もある。一日中のんびりし、何度も入浴できるであろう。

浴室は洗い場、内湯、露天風呂、上がり湯、サウナという構成だ。洗い場にはいいにおいのするリンスインシャンプーとボディソープが完備。ついついたくさん使いたくなる。洗い場は全14か所。シャワーヘッドの水圧が少々足りないような気がする

が、時間をかけてゆっくりと洗えばよろしい。

内湯と露天風呂は、両方とも湯温42℃を示している。体感温度は若干熱めだ。露天風呂で体を冷やしながらかければ、長湯が可能だ。露天風呂の向こうには、荒川の流が見える。涼しげな景色だ。内湯には大浴槽の他に3人分の寝風呂があるが、寝心地はあまり良くない。上がり湯は冷たいので注意。

サウナは変わっている。「足湯サウナ」と称されており、34℃に維持されたウェットサウナのような部屋で足湯が楽しめるようになっている。梵の湯の説明によれば、20分ほど入っていれば、発汗の効果があるという。広さは15人くらいが円卓を囲むような格好で座れるようになっていて、談笑ができるようになっている。水風呂はないので、必要な人はちょっと離れた位置にある上がり湯をかぶる必要がある。

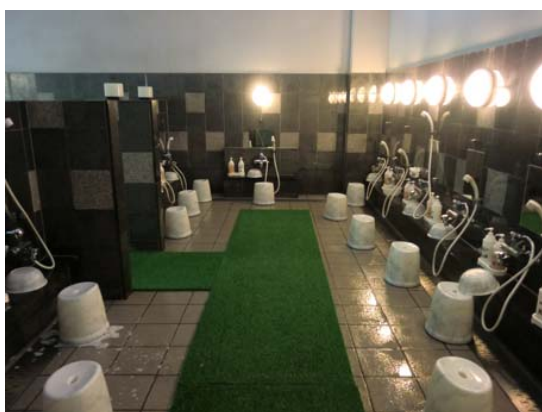
ちなみに梵の湯は、ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉（低張性・アルカリ性・冷鉱泉）で、「関東一の重曹泉」と言われている。一般症の他、きりきず、やけど、慢性皮膚病、慢性婦人病、虚弱体質、アトピー性皮膚炎にも効くという。

浴槽につかると肌はヌルヌルになる。この温泉のポテンシャルの高さはすぐに実感できるであろう。

- **名称**：秩父川端温泉 梵の湯
- **所在地**：埼玉県秩父市小柱 309-1
- **電話番号**：0494-62-0620
- **定休日**：年中無休（但し臨時休業あり）
- **営業時間**：平日 9：00～22：00、土曜日 9：00～22：30、日祝 9：00～22：00、入館は閉館時間の1時間前まで
- **料金（入館料）**：大人（中学生以上）平日 750円、大人土日祝日 3時間 850円、大人土日祝日 1日 1,000円、小人（4歳～小学生）平日

500円、小人工日祝日 3時間 600円、小人工日祝日 1日 700円、乳幼児（3歳以下）平日 300円、乳幼児土日祝日 3時間 400円、乳幼児土日祝日 1日 500円、平日 19：00以降の入館料は 100円引き、岩盤浴 30分 500円、マッサージ 40分 3,300円、60分 4,400円

- **サウナの有無**：あり
- **サウナ内テレビの有無**：なし
- **取材日**：2011年8月5日（金）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部



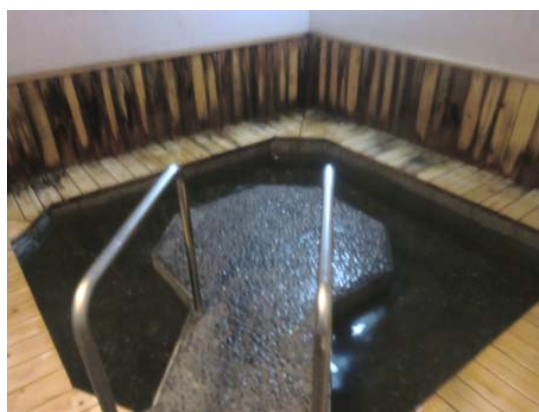
洗い場



露天風呂



内湯浴槽



足湯サウナ